

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第18回 植物細胞周期合同セミナー
演題名	カニクサ造精器と前葉体形成に対する植物ホルモンの影響
発表者	○大石 奈津美 1※、武田 瑞歩2※、星加 名奈美2※、柴田 恭美2、横田 孝雄2、山根 久和1,2、朝比奈 雅志 1,2,3 (1; 帝京大・院・総合理工、2; 帝京大・理工・バイオ、3帝京大・先端機器分析センター ※; 本学の大学院生、卒研生) 【植物生理学研究室】
内容	カニクサ ( <i>Lygodium japonicum</i> ) の造精器は、胞子をGA4 メチルエステルによって処理することにより、その原糸体上に誘導される。我々はこれまでに、GA4 メチルエステルによる造精器形成とプロトネマ伸長、および光環境下における前葉体形成が、プロゲステロン類やオーキシシンによって制御される可能性を見出している。学会では、光学顕微鏡を用いて、カニクサの造精器・前葉体形成に対する植物ホルモンの効果について発表した。本研究の一部は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、私学事業団特別補助「大学間連携による共同研究」による支援を受けて行った。なお、今年度の植物細胞周期合同セミナーは栃木県日光市鬼怒川温泉で開催され、本学植物生理学研究室が幹事を努めた。